



2021年度

「戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第2期／

自動運転（システムとサービスの拡張）／

プローブ等車両情報を活用したアーキテクチャに基づく物流効率化のための実証・評価」

公募説明会資料

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
ロボット・AI部

戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第2期／ 自動運転（システムとサービスの拡張）

全体概要

【社会的意義】

道路交通における安心・安全の確保

- 交通事故の低減
交通事故死者低減目標
2017年3,694人→2,500人以下に
- 交通渋滞の削減



少子高齢化・生産性革命への対応

- 地域の移動手段の確保
- 人手（ドライバー）不足の解消 等

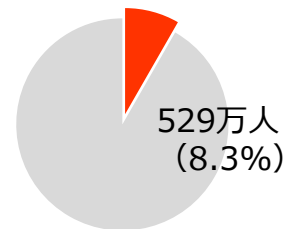


【産業的意義】

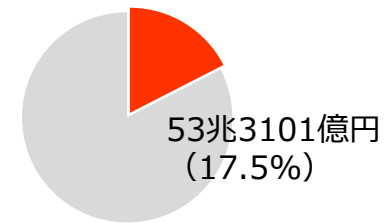
自動車産業の競争力強化

自動車製造業の出荷額：主要製造業の約2割

就業人口



製造品出荷額



新たな産業の創出



車載センサー
(カメラ、レーダー等)



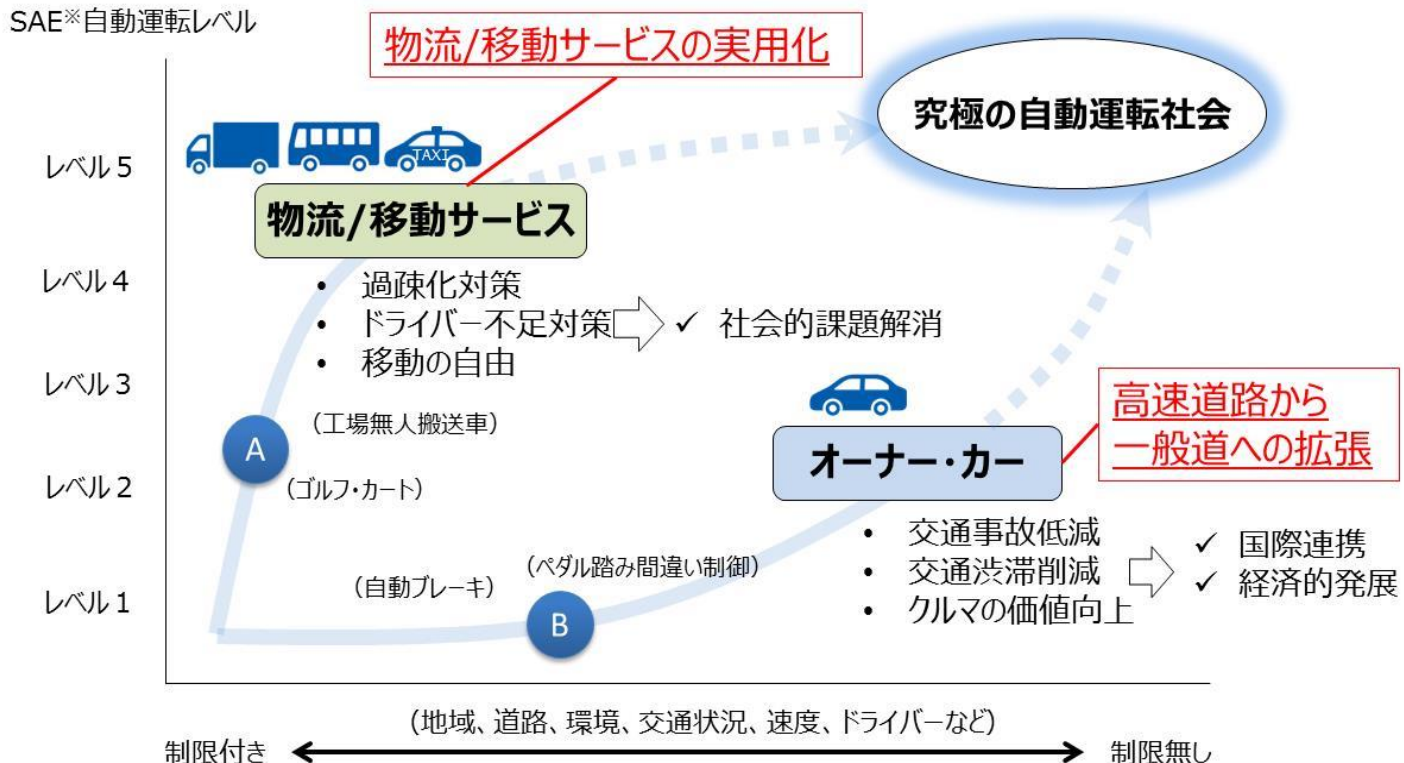
通信機器



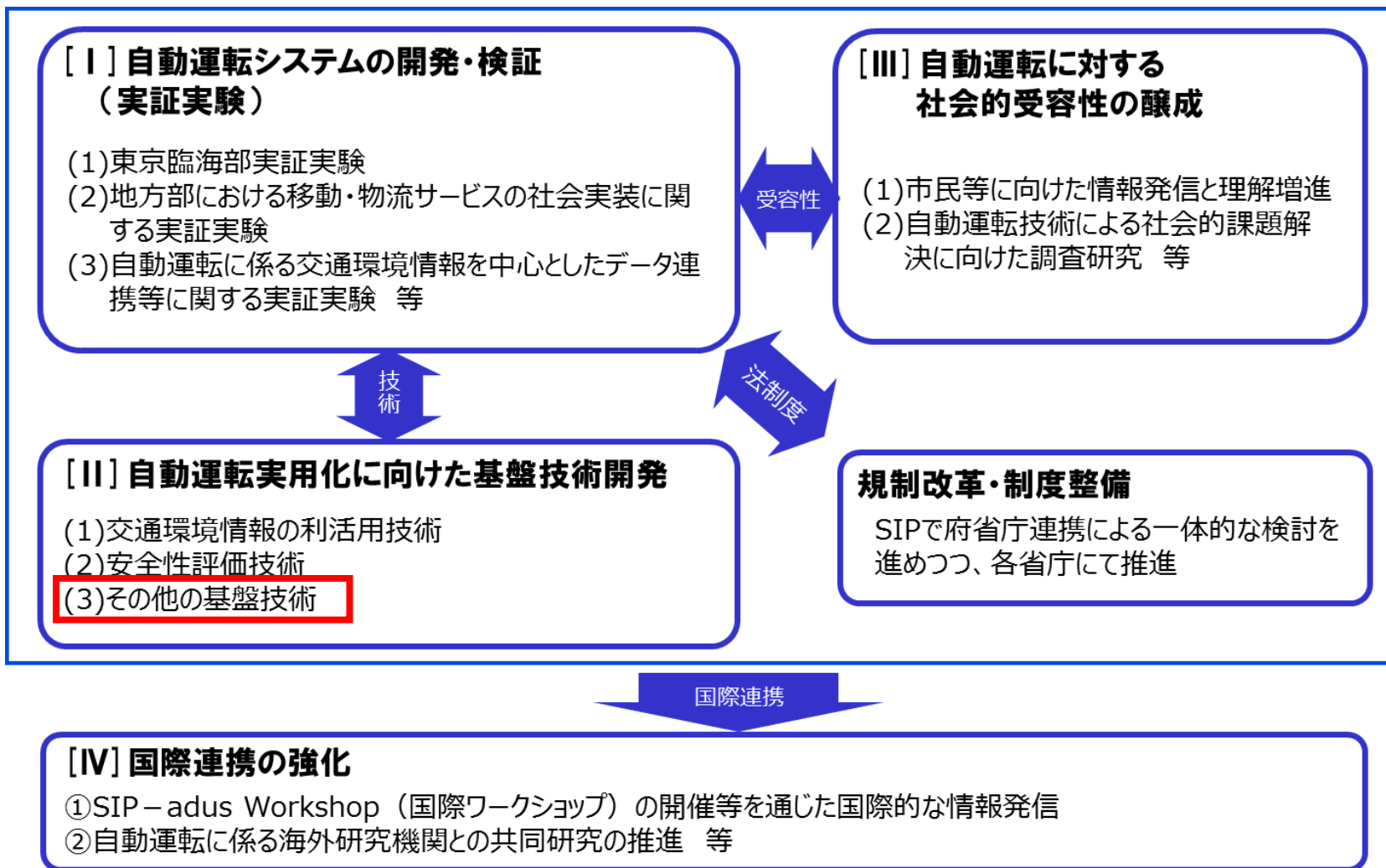
デジタルインフラ

- ✓ 世界的に開発競争が激化する中、自動運転の実用化に向け**協調領域の課題**について**産官学連携**で研究開発を推進。
- ✓ 自動運転の実用化という多くの省庁（警察庁、総務省、経済産業省、国土交通省（道路行政・自動車安全））に跨がる課題解決のため、CSTIの**司令塔機能**により推進。

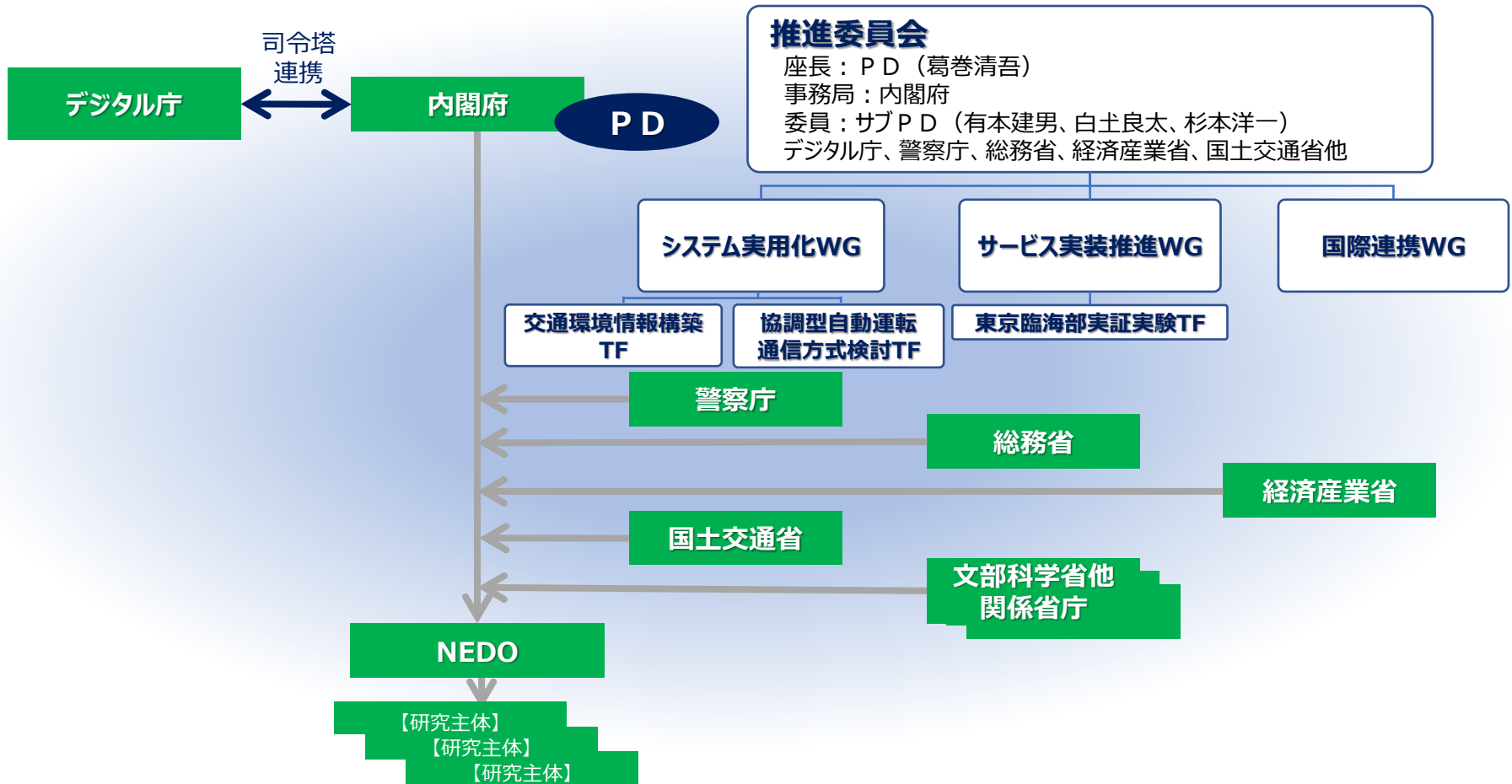
自動運転の実用化を**高速道路から一般道へ拡張**するとともに**自動運転技術を活用した物流・移動サービスの実用化**することで交通事故低減、交通渋滞の削減、過疎地等での移動手段の確保や物流業界におけるドライバー不足等の社会的課題解決に貢献し、**すべての国民が安全・安心に移動できる社会**を目指す。



※SAE (Society of Automotive Engineers) : 米国の標準化団体



実施体制



「プローブ等車両情報を活用したアーキテクチャに 基づく物流効率化のための実証・評価」

公募概要

(提案時の注意事項)

本公募の背景・目的

- 交通事故の低減や交通渋滞の削減、高齢者や交通制約者の方々のモビリティの確保といった社会的課題の解決に加え、物流や移動に係る新たなサービスやビジネスの創出など自動運転がもたらす社会変革への大きな期待があることを背景に、戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第2期／自動運転（システムとサービスの拡張）においては、自動運転を実用化し普及拡大していくことにより、交通事故の低減、交通渋滞の削減、交通制約者のモビリティの確保、物流・移動サービスのドライバー不足の改善・コスト低減等の社会的課題の解決に貢献し、すべての人が質の高い生活を送ることができる社会の実現を目指している。
- 現在、トラック物流業界では、過酷な労働環境やドライバー不足が深刻化しており、増大する貨物輸送量に十分に対処することができず、経済への悪影響が懸念され、官民で様々な手が打たれているところである。
- 本事業では、更なる荷待ち時間や作業時間の短縮、マッチング条件や安全性の向上に向けて、前プロジェクトで実施した調査・実証の深耕を図るための実証実験の実施と効果検証を行うとともに、車両情報やプローブ情報を物流効率化推進に活用する用途をさらに拡張するためのユースケースや情報アーキテクチャを検討するものである。

本公募で実施する業務の概要（1/2）

a. 車両・プローブ情報等を活用した実証実験の企画立案と運営実行

以下について実証実験の企画立案と運営実行及び評価検証を進める。

- i. 車両・プローブ情報等の活用による運送業務の荷待ち時間の改善
- ii. 車両・プローブ情報等からの日常点検項目確認による作業時間等の改善
- iii. 積載重量・タイヤ情報のリアルタイム把握による運行スケジュール等制御の改善

b. 実証実験の評価検証

以下について実証実験の評価検証を進める。

- i. 手待ち時間の短縮に有用となる物流トラック（OEM）から得られるデータの項目、仕様、期間等を具体化した上で実証実験を行い、効果検証を実施する。
- ii. 実証実験の企画、実施にあたっては、物流業界全体の意見を集約できるよう参加者を選定する。
- iii. 評価検証にあたっては、業界全体、全国での実用化を見据え課題を抽出した上で、データフォーマットの統一など早急に実施すべき対応案とともに、データ活用により労働時間の短縮、マッチング条件の向上、うれしさの提供、安全確保などトラック運送に係る社会的課題軽減に資する活用策を提案する。

本公募で実施する業務の概要（2/2）

- c. 物流の効率化に有用となる情報やデータの利活用に向けたアーキテクチャの構築**
以下について物流の効率化に有用となる情報やデータの利活用に向けたアーキテクチャの構築を進める。
- i. 物流トラック（OEM）から得られるデータを活用した物流効率化など将来のデータ連携／活用に向けたアーキテクチャを整理する。
 - ii. SIP自動運転（システムとサービスの拡張）施策である「自動運転・運転支援に係るアーキテクチャの設計及び構築のための調査研究」と連携し、同施策における自動運転に係る交通環境情報等地理系データの多用途展開のためのポータルサイトのサービスの開始に資するものとする。
 - iii. 商用車の車両プローブ情報活用に向け、データフォーマット等に関する標準化提案を行う。

予算

<予算>

予算年度	予算額
2021、2022年度	58百万円以内

本公募による委託事業の基本条件（1/2）



	委託事業
事業の主体	N E D O
事業成果の帰属	受託者
NEDO負担額	直接経費 + 間接経費 + 消費税
消費税	費用計上対象(10%で計上)
間接経費	中小企業20%、大学15%、大企業10%
その他	研究開発独立行政法人から民間企業への再委託等は、原則、不可。

間接経費の詳細につきましては、N E D Oホームページより、下記URLをご参照ください。

■ 事務処理マニュアル（2021年4月）Ⅷ.間接経費について

<https://www.nedo.go.jp/content/100930481.pdf>

■ 事務処理マニュアル（大学・国立研究開発法人用）（2021年4月）Ⅸ.間接経費について

<https://www.nedo.go.jp/content/100930807.pdf>

契約

新規に業務委託契約を締結するときは、最新の業務委託契約約款を適用します。

【参考】

・約款・様式：

業務委託契約標準契約書

https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/2021_3yakkan_gyoumu.html

業務委託契約標準契約書（大学・国立研究開発法人等用）

https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/2021_3yakkan_daigaku-gyoumu.html

・マニュアル

https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/manual_jimushori_2021.html

次の a .から c .までの全ての条件を満たすことのできる、
単独ないし複数で受託を希望する企業等とします。

- a. 当該技術又は関連技術についての調査／事業実績を有し、
かつ、調査／事業目標の達成及び調査／事業計画の遂行に
必要な組織、人員を有していること。
- b. 当該委託業務を円滑に遂行するために必要な経営基盤、
資金等について十分な管理能力を有し、
かつ情報管理体制等を有していること。
- c. N E D O が業務／事業を推進する上で必要とする措置を、
適切に遂行できる体制を有していること。

- a. 調査の**目標がNEDOの意図と合致**していること。
- b. 調査の**方法、内容等が優れている**こと。
- c. 調査の**経済性が優れている**こと。
- d. 関連分野の調査等に関する**実績を有する**こと。
- e. 当該調査を行う**体制が整っている**こと。
- f. **経営基盤が確立**していること。
- g. 当該調査等に**必要な研究員等を有している**こと。
- h. 委託業務管理上NEDOの必要とする措置を**適切に遂行できる体制を有する**こと。
- i. ワーク・ライフ・バランス等推進企業に関する認定等への取組状況。

平成28年3月22日にすべての女性が輝く社会づくり本部において、社会全体で、女性活躍の前提となるワーク・ライフ・バランス等の実現に向けた取組を進めるため、新たに、女性活躍推進法第24条に基づき、総合評価落札方式等による事業でワーク・ライフ・バランス等推進企業をより幅広く加点評価することを定めた「女性の活躍推進に向けた公共調達及び補助金の活用に関する取組指針」が決定されました。本指針に基づき、女性活躍推進法に基づく認定企業(えるぼし認定企業・プラチナえるぼし認定企業)、次世代育成支援対策推進法に基づく認定企業(くるみん認定企業・プラチナくるみん認定企業)、若者雇用促進法に基づく認定企業(ユースエール認定企業)に対しては加点評価されることとなります。

a. 採択結果の公表等について

採択した案件（実施者名、事業概要等）はNEDOのホームページ等で公開します。不採択とした案件については、その旨を不採択とした理由とともに提案者へ通知します。

b. 附帯条件

採択に当たって条件（提案した再委託は認めない、他の機関との共同研究とすること、再委託研究としての参加とすること、NEDO負担率の変更等）を付す場合があります。

- 9月27日（月）：公募開始
- 10月26日（火）正午：公募締切
- 11月上旬（予定）：採択審査委員会
（外部有識者による審査）
- 11月中旬（予定）：委託先決定
- 11月下旬（予定）：公表

お問い合わせは、下記宛に電子メールにて受け付けます。ただし審査の経過等に関する問い合わせには応じられません。

【問い合わせ先】

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

ロボット・AI部 安食、小谷

E-mail : sipadus_publicoffering@nedo.go.jp

- 提出期限：

2021年10月26日（火） 正午（アップロード完了）

- 提出先：

Web 入力フォーム

<https://app23.infoc.nedo.go.jp/koubo/qa/enquetes/hm62z0hoq7nr>